

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ドリームHARIMADA		
○保護者評価実施期間	令和8年 11月 1日		令和8年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年 11月 1日		令和8年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2024年に建築された綺麗で家庭的な建物で運営しています。	当施設は設計段階から「お子様の安全」を最優先に、建築家や専門家の方々と話し合いを重ね建築された建物で運営しています。非常階段や耐震性、オール電化など「もしも」の時にかけがえのない命を守るよう細部までこだわり抜いて設計しています。物理的な安全性だけでなく、未就学の間からお子様が自分らしく安心して落ち着いて過ごし、成長するにつれて「第二の家」と思えるような環境作りを心掛けています。	安全性を重視して設計された当施設を最大限活かせるよう、毎年3月と9月に行っている避難訓練や各研修、マニュアルの内容の充実を図り、お子様が今まで以上に安心して過ごせる環境作りに努めます。また、お子様が「もしも」の時に安心して職員を頼れる関係性を築ける支援を行っていきます。保護者の方に対して、大切なお子様を安心して預けられるよう周知を徹底し、今まで以上に信頼関係を築いていきたいと考えています。
2	職員が様々な資格や経験を持っており、それを活かした充実した療育活動を行っています。	それぞれの職員が「教員」「介護士」「栄養士」「心理カウンセラー」などの資格や、「スポーツ」「音楽活動」など様々な経験があり、専門的な知識や経験を活かして「食育教室」や「音楽療法」など独自の活動を取り入れています。また、今まで経験のないことに関して「やってみたい」「知りたい」という気持ちを育むことを大切にしています。活動という括りの中だけではなく、それぞれの経験に基づきお子様の興味や知識の幅が広がるような対話を心掛けています。	お子様が興味を持ったことや、やりたいと思う気持ちを大切に、活動に取り入れて療育活動をより充実したものにしていきたいと思えます。小学校へと移行していく生活の中で、自己選択の機会を増やし積極性を身に付けていければと考えています。今後はお子様の意見を取り入れつつ独自の活動を増やし、活動を楽しみながら自己決定出来る力や自己肯定感を育み、社会性を身に付けていけるよう支援を行っていきます。
3	日中一時支援事業を併設しています。	日中一時支援事業では年齢制限がなく、当施設では未就学のお子様から社会人の方まで幅広い年齢の方がご利用されています。日中一時支援をまずご利用し、児童発達支援や放課後等デイサービスへの移行、支給日数超過分のご利用など、それぞれの生活やニーズに合わせてご利用の仕方を事業所内で調整出来ます。小学校への入学に伴う環境の変化はとて大きく、対応できるまでに時間がかかるお子様が少なくありません。日中一時、児童発達支援、放課後等デイサービスと、事業所内で調整することでお子様の負担を少しでも減らすことが出来ればと考えています。	日中一時支援事業では、ご家族の就労支援やレスパイト、ご本人様の生活支援を目的として活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練や見守り支援を行うことが基本となっています。生活様式の変化に伴い、保護者の方も多様なニーズを抱えておられます。保護者の方にとっても心と身体を一時的に休息し、お子様を安心して預けお預けして頂ける場所になりたいと考えています。日中一時支援事業を併設している利点を最大限に活かし、今まで以上に様々なニーズに答えることの出来る体制整備に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ないと考えています。	ご家族の方が参加出来るイベントが立案出来ていないことが要因の1つです。	子育て・発達支援の現場では悩みや不安を一人で抱え込み、孤立感を感じてしまう保護者の方は少なくありません。同じ立場である保護者の方と悩みや経験を共有することによって、精神的な負担が軽減されることは多いです。まずは、参観など活動を見ていただく機会を作り、親子で参加出来るイベントの企画や保護者交流会の開催など、保護者の方同士の関わりや相談の場を定期的に提供していきたいと考えています。
2	地域との交流の機会が少ないと考えています。	守山市障害者スポーツ協会(ユニスポもりやま)に参加させていただいていますが機会が少ないと感じています。地域への情報発信が不足していることも要因だと思います。	お子様を支えるネットワーク作りのためにも地域との交流は重要だと感じています。今後は地域の関係機関との情報交換の機会を増やし、情報収集に努めます。地域の施設の利用やイベントへの参加などを積極的に行い、地域連携の向上に取り組みます。また、HPにて取り組みやお子様の日常などの情報発信を行い地域の理解促進を目指します。
3	自立支援協議会等への案内が届いているが出席ができていません。	自立支援協議会には参加していますが、開催日時との折り合いがつかず、自立支援協議会への出席は行えていません。	地域の障害者の方のニーズや、不足するサービス・支援等の課題を把握し、地域の障害者支援体制を整備するために、自立支援協議会へ出席する機会を作ることが重要となります。今後は開催日時のご案内をいただいた時点で、選任者が出席出来るよう調整を行い積極的に参加出来るよう改善します。